

## 大阪市青少年問題協議会第2回会議 議事要旨

### 1 日時

平成26年8月29日(金)午後3時～午後5時

### 2 場所

大阪市役所 屋上階 P1会議室

### 3 出席者

(会長・委員)

森栗会長・牛島委員・大成委員・加賀委員・梶木委員・加藤委員・河島委員・  
古島委員・白國委員・中田委員・西崎委員・春田委員・富士原委員

(本市)

藤井平野区長

内本こども青少年局長・諫山こども青少年局理事

田丸こども青少年局青少年担当部長・谷口こども青少年局企画部青少年課長

松原こども青少年局企画部放課後事業担当課長

岸本こども相談センター相談支援担当課長

川勝福祉局生活福祉部保護課長

辻川福祉局生活福祉部生活困窮者支援担当課長

塩谷福祉局生活福祉部福祉活動支援担当課長

### 4 議題

(1) 経過報告

(2) 青少年問題に関する今日的課題について

### 5 議事要旨

開会

出席委員等紹介

議案(1)について事務局より報告

- ・第1回会議の議事要旨について
- ・「財源移管に伴う青少年関連予算の状況」について
- ・「青少年にかかる課題に対する大阪市の施策・事業一覧」について
- ・区の取組みについて(藤井平野区長)

議案(2)について第1回会議の議事要旨における4分類に沿って事務局より報告、  
各委員より意見

- 〔4分類〕
1. 地域におけるサポート連携 等
  2. こどもの居場所作り
  3. 子育て支援、親支援
  4. こども・青少年の自立支援

<主な意見>

- ・大阪市は大学が少ない。大学生がもっと大阪市に入ってきて地元の子どもたちと一緒に学習サポートの事業をやるようなことが、もっとあるべきではないか。
- ・いろんな大学に地域連携室というのがあり、割と学生も豊富にいます。どのように派遣したらいいか、逆に大学が困っているときがあるので、そのあたりのマッチングのシステムが実は難しく、そこを役所の方が担っていただけると非常にありがたい。
- ・子どもたちからすると自分の学校の卒業生が、母校出身の子が帰ってくると、その子たちが子どもの面倒を見るというのが、物すごく親しみがあがり、また、言うことをききます。やはり学校発の人材を求めるという視点も必要だと思う。
- ・不登校は非常に大きな問題だが、義務教育が終わるとなかなかこの不登校問題を取り扱う部分がなくなってきた、それで若者の就労してない子がたくさん増えてしまうことが問題だと思う。学校から離れたときの居場所がないということが問題で、そういう意味では町の保健室みたいなものがあるといい。
- ・青少年に関わる多種多様な充実した事業がなされていると思ったが、これらの事業が対象となる人にどれだけ周知されているのかが気になった。また、実際に利用の実績がどうなっているのかが気になる。
- ・地域の連携を支える、あるいは子育てを支える、いろんな分野での人材の育成というところを、地味なことだが先を見据えてしっかりと手を打っていく必要がある。
- ・関西に来て思うのは非常に人と人の距離が近いということ。これは強みだと思う。そういう強みや、いい部分を生かして、サービスにつなげていくことが何かできないか。
- ・今日の議論を整理して、今後の施策に反映してほしい。今日取り上げた各区や部局の施策についてはチェックをしていただきたい。